



2017. 4. 27

交通事故に気をつけよう

園長 有馬 重人

もう十年前ですが、私は大変な事故に遭いました。平成19年2月下旬の午後9時過ぎ、美東町から吉敷へ抜ける国道435号線を走っていました。対向車が旧鳳鳴小学校前の直線をスピードを出し、対向車線のほうへ飛び込んできて、私の車と正面衝突をしました。

このときの事故は、すさまじいものがありました。私の乗っていたフィットという車は、完全にボンネット部分がへこんでなくなりました。私と助手席に乗っている妻は、大きな怪我をしました。私は、左腕の骨折、左膝の複雑骨折、内臓の裂傷で人工肛門の装着、くも膜下出血、気管切開、口腔外科の手術などでした。喋ることもできませんでした。そのとき、社会復帰は夢のまた夢のように



感じていました。雪が舞う頃に入院をして、やっとホテルが飛び交う頃に二つ目の病院を退院しました。それから少しずつ体力が回復し、歩けたり話したりできるようになりましたが、それも毎日、悲鳴を上げるようなリハビリを続けたからだと思っています。リハビリのおかげで、日常の生活に戻ることができました。妻も同じ事故に遭ったので、二人でリハビリに取り組み、励まし合いながら続けたからかもしれません。私はどちらかというところ消極的だったのですが、妻に引っ張られてという感じもありました。でも、「リハビリはウソをつかない。正直に取り組めば、ある日突然、次の段階へ押し上げてくれる」と素直にそう思いました。

大変な出来事だったのですが、このとき小学校教員の私は、すごい体験を子どもたちに知らせ、交通事故の怖さを実感してほしいと思いました。事故車の画像、入院中の様子、レントゲン写真などでプレゼンをつくり、事故の様子を教えました。顔が真っ青になり気分が悪くなる子もいました。事故の現実を、少しは理解してくれたと思っています。

これから気温が少しずつ上がると、外で元気よく遊びたくなるものです。しかし、気をつけたいのは、この頃に交通事故が増加することです。行動的に活動すれば、道路へ出ることも増えます。幼稚園の子でも、自分で気を付けることを習慣づけたいと考えています。園での活動のとき、園外へ外出することもあります。このときに、どこを注意したらいいか、何が安全かを十分に指導していきます。ただ、この年齢の子どもたちの特性も考える

と、幼稚園だけの指導では十分と言いきれない部分もあります。幼稚園から小学1年生くらいの子どもたちは、自分の興味のあるものに集中してしまい、車を運転する大人にとっては思いがけない動きをする傾向があるそうです。しかも、まだ危険を認識する力も乏しいらしいのです。ときどき見ることがありますが、親子で横断歩道を渡るとき子どもが一人走って渡っていることがあります。これも危険性を十分に認識できていないことかなあと思います。

保護者の皆さんも、子どもの特性を配慮してていねいに教えていただければと思うのです。実際に横断歩道を渡るときに「どんなことに気を付けたらいいと思う？」とか「なぜ飛び出したりするのか？」など、話題にしてほしいのです。子どもと話し合うことは、意識を育てる上でも、大切だと思います。

子どもたちが自分で考え、安全な行動ができるように、幼稚園とご家庭が力を合わせて育てていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

働くパパママ川柳

4/19(水)の中国新聞で、オリックスグループ主催の第1回「働くパパママ川柳」の入選作が紹介してありました。新聞には7句ありましたが、私が気に入ったものを3句紹介させていただきます。

大賞

カバンには パソコンスマホ 紙おむつ [神奈川 42歳 女性]

※子どもの通園のためのバックへ入れるはずの紙おむつを、バタバタと準備するうちに間違っって自分の仕事用のカバンへ入れたまま出勤する様子が想像されます。皆さんはどうですか。

ママ目線賞

すべりこむ 会社に園に お布団に [京都 39歳]

※このあわただしく動いているお母さんの姿が見えてきそうです。「お布団に」でホッとすする間もなく、爆睡されているような感じですか。お疲れ様です。

パパ目線賞

おむつ替え プレゼンよりも 汗が出る [大阪 36歳]

※慣れない育児に奮闘されているお父さんが想像できます。初めは誰でも上手くはできません。でもここを頑張れば、きっと出来るようになります。健闘を祈りたいと思います。

クスッと笑ってしまったので、ここで紹介させてもらいました。

こいのぼりが上がった

4/20(木)アンパンマン広場(旧ロケット公園)でこいのぼりを上げました。全員が集まり、鯉が元気よく泳ぐ姿を見ることにしました。しかし、残念ながら、無風状態でこいのぼりは下がったままでした。前日に支柱を立てるときは、気持ちのよい風が吹いていたのですが、なかなか思うようにいかないものです。しかし、支柱の位置は、駐車場のすぐ近くに



になりました。見やすい所になっていますので、ぜひご覧ください。

ちなみに、「こいのぼり」を上げる由来を簡単に解説をしておきます。鯉はとっても強いお魚でなのです。「難しいことでも最後まで頑張れる」という昔話があるくらいです。だから、子どもが生まれた時にお祝いする「のぼり」という旗に鯉を描いて、「この子が鯉のように強くなりますように」「色々なことを頑張れる子になりますように」とお願いごとをしたことが、こいのぼりを上げる習慣になったと言われています。元気のよい強い子どもになってほしいという親やまわりの大人の願いの表れなのです。乳児の皆さんも、窓からのぞき込むように様子を見てくれました。



右の写真は、4/21(金)の夕方に撮ったものです。午後から強い風が吹き、こいのぼりも気持ちよさそうに泳いでいました。



お知らせ

通用門の鍵について

園児の登降園で、お迎えがある人はピンク色の通用門を通ることが多くあります。ご存じのように、この通用門の鍵は、高いところへ設置されています。子どもたちが勝手に出入りしないように設けられているものです。ときどきお子さんの中には、ぎりぎり手が届き、開けたりすることがあります。しかし、大変危険ですので、開閉は必ず保護者の皆さんで行うようお願いいたします。駐車場が近くになり通用門を出たところへどんどん車が入ってきます。危険性も高くなっていますので、出入りするときは、保護者の皆さんで鍵の開閉を確実にしていただくようお願いいたします。



野田学園幼稚園の全体構想

今回の「らららん」に『H29年度 認定こども園野田学園幼稚園 全体構想』と『H29年度 認定こども園野田学園幼稚園 教育課程』を添付しています。昨年度までは、3歳以上を対象にした計画を作成していましたが、今年度から乳児部とのつながりを考えた全体構想になっています。また、教育課程では年齢ごとの重点目標や、めざす乳幼児像との関連も明確に示しました。園の目標を保護者の皆さんにご理解していただき、子育てを幼稚園と協力しながら取り組めることができたらいいなと思いますので、よろしくお願いいたします。お気づきやご意見がありましたら、園長へご連絡ください。

体調に気をつけましょう

今年は、入園式のときも桜が咲いていました。こんなに遅くまで桜が残っていたのは10年ぶりだという話です。今でも朝晩は寒く感じることもあり、私(有馬)もその影響か風邪を引いてしまいました。でも、インフルエンザほど強烈ではないものの喉の痛み、鼻水、寒気など風邪の諸症状を示しています。自分でも実感してしまうのですが、60歳を過ぎると回復するにも日数が多く掛かるように感じます。

これからゴールデンウィークがありますが、つい無理をすると体調を悪くすることも考えられます。天候や健康状態にも気を付けられ、楽しい大型連休になるようお願いしたいと思います。

